

新所沢駅周辺まちづくり特別委員会会議記録（概要）

令和5年2月2日（木）

開 会（午前10時0分）

【議 事】

○新所沢パルコの営業終了に伴う新所沢駅周辺のまちづくりについて

植竹委員長

本日は、令和4年10月27日の委員会に引き続き、これまでの委員会の調査、研究を踏まえた提言を行うことについて協議を行います。

令和4年10月27日の委員会では正副委員長の提言案をお示しし、委員の皆様から御意見をいただきました。

また、この間、令和4年11月21日の委員会では市長、副市長ほか関係部長に出席を求め、新所沢パルコの営業終了に伴う新所沢駅周辺のまちづくりに係る市の取組について審査を行ったほか、令和5年1月29日に開催しました政策討論会では、議員間の闊達な意見交換により、認識の確認と共有が図られ、これにより今後の課題や展望などが見えてきたところ
です。

提言案をまとめるに当たり、今後の進行を確認するため、委員会を休憩し、協議会を開催したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（委員了承）

休 憩（午前10時2分）

（休憩中に協議会を開催）

再 開（午後11時25分）

植竹委員長

再開いたします。これまでの委員会等における皆様からの御意見と、政策討論会で確認できた事項を踏まえ、正副委員長で提言案をまとめたので御確認いただき、この提言案に対して、御意見を伺いたい。

長岡委員

タイトルの部分について、「将来像」とするなら「まちづくりの将来像」よりも「まちの将来像」とした方がよいと思う。「新所沢駅周辺まちづくりの将来像」を「新所沢駅周辺のまちの将来像」とするのはいかがか。

（委員了承）

長岡委員

提言の「5. 新所沢駅周辺のまちづくりに関する新たな指針及び将来像を示すこと」について、「新たな指針及び」のあとを「新所沢駅周辺のまちの将来像を示すこと」とするのはいかがか。

（委員了承）

石原委員

1行目の読み出しの部分、「新所沢駅周辺まちづくり特別委員会は、新

所沢パルコが令和6年2月29日をもって営業を終了することが発表されたことによって、この営業終了によって影響が懸念される」の部分について、「よって」が重複している。主語が「特別委員会は」なので、「発表されたことによって」を「発表されたことを受け」としたほうが、読む方も分かりやすいと思うがいかがか。

(委員了承)

杉田委員

提言の「1. 新所沢駅周辺のまちづくりにおける担当部署間の連携強化に努めること」となっているが、政策討論会の中でも専門部署をつくるのはどうかということや、窓口を一本化したほうがよいという話が出ていたため、専門部署を集めたプロジェクトチームの設置というように変えてもよいと思う。

長岡委員

では、「1. 新所沢駅周辺のまちづくりにおいてプロジェクトチームの設置に努めること」とするのはいかがか。

(委員了承)

川辺委員

提言の「3. 地権者及びパルコ関係団体と情報共有を図り現状把握に努めること」について、もう少し強く動いてもらいたいという思いを込めて、

「情報共有を図り」の前に「積極的に」と一言加えたほうが提言としてメッセージ性があると思うがいかがか。

(委員了承)

植竹委員長

提言の3の「パルコ関係団体」の部分について、ここで指しているのは事業者側ということが分かるようにすることを踏まえると、「パルコ関係事業者」とするのはいかがか。

(委員了承)

小林委員

提言の3について、市民も情報を知りたいということで、「現状把握」だけではなく「市民への情報発信に努めること」も入れたい。「現状を把握し、市民への情報発信に努めること」としたらどうか。

(委員了承)

植竹委員長

ただいま御意見のありましたことを反映させ、また、細かい文言の修正をしたいので、再度、提言案をまとめるため、暫時休憩します。

休 憩 (午前11時40分)

(休憩中に協議会を開催)

再 開 (午前11時41分)

植竹委員長

再開いたします。提言案をお配りします。お手元にお配りした提言案について、御意見はありますか。

(意見なし)

植竹委員長

それでは、お配りした提言案について、以下、読み上げます。

【提 言】

新所沢パルコ撤退に伴い魅力ある新所沢駅周辺のまちの将来像に向けた提言

新所沢駅周辺まちづくり特別委員会は、新所沢パルコが令和6年2月29日をもって営業を終了することが発表されたことを受け、この営業終了によって影響が懸念される、新所沢駅周辺の商業振興、都市計画、公共交通ネットワーク、公民連携について藤本市長をはじめ担当部局の職員を説明員として委員会を開催し調査を行ってきた。

また、市街地再開発事業といった「駅周辺のまちづくりについて」東京都豊島区並びに新潟県新潟市及び新潟県長岡市などへ、「まちなかウォー

カブル推進事業について」さいたま市大宮区へ行政視察を行い、他自治体
が取り組む様々な事項に関しても調査研究を行ってきた。

さらに、東京藝術大学准教授・RFA主宰の藤村龍至氏や、新所沢パル
コの撤退に関する研究会委員を参考人として意見を求め、また、政策討論
会を行ってきた中で、新所沢駅周辺の魅力あるまちづくりについて、市行
政における地域住民と連携した協働による必要性や、新所沢駅東口も含め
市民の多様性を尊重するなど、まちづくりの進め方に関し課題があると思
え、本特別委員会は以下のことを求め、提言する。

記

1. 新所沢駅周辺のまちづくりにおいてプロジェクトチームの設置に努め
ること
2. 地域住民と連携した協働による取組を進めること
3. 地権者及びパルコ関係事業者と積極的に情報共有を図り現状を把握
し、市民への情報発信に努めること
4. まちづくりにおける個別事業の検討とともに予算の確保に努めること
5. 新所沢駅周辺のまちづくりに関する新たな指針及び新所沢駅周辺のま
ちの将来像を示すこと

以上

それでは、委員会としてこのとおり提言し、3月定例会における特別委員長報告として報告することよろしいですか。

(委員了承)

植竹委員長

御異議なしと認め、そのように決定しました。

それでは、3月定例会において報告を行う旨の申し入れを、議長に行います。

ここでお諮りします。新所沢パルコの営業終了に伴う影響が懸念される新所沢駅周辺の商業振興、都市計画、公共交通ネットワーク、公民連携等に関する調査・研究を行うため設置された本特別委員会ですが、以上をもちまして、本特別委員会における全ての審査を終結することに御異議ありませんか。

(委員了承)

植竹委員長

御異議なしと認め、そのように決定しました。

以上で、新所沢駅周辺まちづくり特別委員会を閉会します。長期間、大変お疲れさまでした。

散 会 (午前11時45分)

